

佐野市立犬伏小学校



校長室だより



令和5年度 第19号  
R6.1.10  
館野 道明

## 新年あけまして 大震災を受けて思うこと



2024(令和6)年、新しい年を迎えました。

すでにご承知のとおり、1月1日には、能登半島で大きな地震が発生し、石川県を中心に甚大な災害が起こりました。お亡くなりになりました方々に対し、謹んでお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆様及びご親族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

地震など自然災害は、お正月だからといって人間の都合に合わせて待ってくれるものではないということをつくづく感じました。また、地震の被害にあわずに済んでいる自分はどうしたらよいか、自分にできることはないのだろうか、いろいろと考えさせられ、心も痛みました。

お子さんたちにとっても、地震によるこれだけの災害を目の当たりにするのは衝撃も大きかったのではないかと思います。私たち大人が、お子さんたちの手本となって、災害に対する考え方、行動の仕方を示していくことが大切だと考えます。



できる限り被災された方に思いをはせながら、我慢できることは我慢したり、自粛したりすることも必要かと思いますが、普段どおりに自分たちの生活を真面目に一生懸命送っていくことも大事なと考えます。今回の災害に対して決して無関心となることなく、救助活動や復旧作業に当たる方々、避難所で助け合ったり、支え合ったりしている人々の姿から、人間としての生き方など、多くのことを学ぶことができると考えています。それが、今自分にできることかと思っています。

昨日から学校が再開しました。お子さんたちの明るい表情と元気に駆け回る姿にエネルギーをもらいました。これから3月まで、お子さんたちにとってそれぞれの学年のまとめの時期が充実したものとなるよう、更には次年度に向けた準備が整うように支援をしていきたいと思っています。

保護者の皆様やご家族、地域の皆様と共に子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな心の育成と学力向上及び体力向上に教職員一同努力してまいります。皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。  
～がんばろう犬伏小! がんばろう日本!～

### 三月まで「備えあれば 憂いなし」

新しい年を迎えた皆さんは、どんな新年の誓いを立てましたか。私は、「毎日の食事に感謝して食べる。お風呂にもありがたいなと思って入る。毎日感謝の気持ちをもって過ごす。」というちかいを立てました。

一人一人が目標を立てて一日一日実行できるような頑張りましょう。

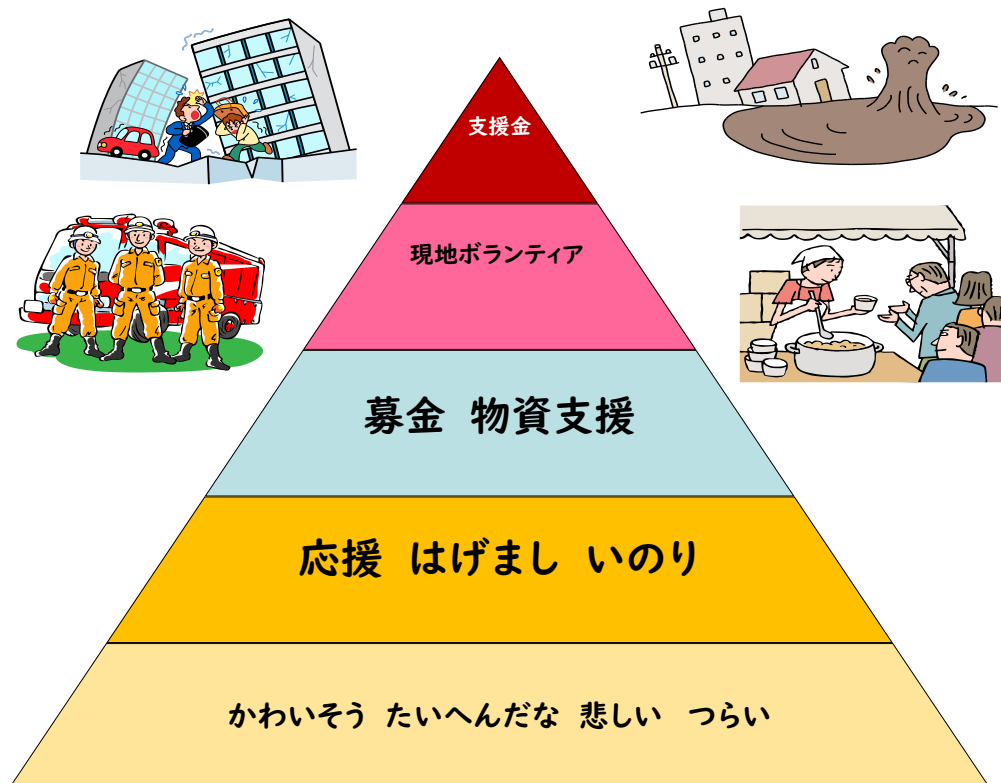
今年度、今の学年も残り三か月となりました。この残り三か月間は学年のまとめの時期です。そして、四月には六年生は進学、一から五年生は進級を迎えます。

「備えあれば憂いなし」ということわざを知っていますか? 準備をしっかりとっておけば、何事も心配することはないという意味です。

みなさん、この三月までの三か月間は、まとめと同時に準備の期間です。六年生は中学一年生の0.7学期、一年生から五年生は、それぞれ二年生から六年生0学期、五年生は最高学年6年生に向けての5.7年生と考え、四月からの一つ上の上級生となった自分の姿を想像し、よりよい自分を目指して、自分を高めるため、毎日がんばっていきましょう!

朝このように話をした後、教室を巡ってみると、どの教室の児童も姿勢良く、真剣な表情で学習に意欲的に取り組んでいました。明るい展望を感じました。「新年のちかいは、各学級で廊下に掲示します。ご家庭でもお子さんのちかいが実現できるよう、お声掛けやご支援いただきますようお願いいたします。

<自分にできることはなんだろう?> いろいろな段階について考えてみました。



無関心 無視 他人事 見て見ぬふり

知らない

自分の状態	段階	自分にできることは?
知っている	5	支援金 寄付金 大量の物資支援
	4	現地ボランティア
	3	募金 物資支援
	2	応援・はげまし・祈り
	1	かわいそう・たいへんだな・悲しい・つらい・同情
	-	無関心・無視・他人事・見て見ぬふり
知らない	0	

被災された方々に対して、自分には関係ないと思ったり、無関心だったり、見て見ぬふりをしたりするのはよくないと思います。これは、困っている人、いじめられている人、差別されている人に対しても、同じことが言えると思います。

被災された方々の様子(事実)を知る努力をしてほしいと思います。そして、「かわいそう」とか「たいへんだな」と同情する段階から、一歩踏み出し、自分にできることはないか考えていけるとよいと思っています。自分にできることにも様々な段階があると思いますが、自ら考え、行動することを通して、他を思いやる心を育てていきたいと考えています。